

「第3回北海道国有林森林・林業技術協議会

現地検討会 報告

日時：平成24年9月27日（木）

場所：石狩森林管理署2210林班 他

出席者：北海道森林管理局、林木育種センター北海道育種場、森林総合研究所北海道支所
合計34名

内容：当協議会は、北海道地域における技術開発及び試験研究に関する情報の交換・成果の普及等を目的として平成22年度に発足しました。

今年度は札幌市定山溪地区および簾舞地区に設定している試験地に赴き、検討会を開きました。

最初に、定山溪地区にある2210林班・天然林施業指標林にて、道局指導普及課から「定山溪国有林天然林施業の取組み」について、林分タイプ別4箇所（現在は3箇所）の試験地において、更新方法の検討、林分成長量の測定などを通じて、施業体系を確立することを目的としているとの試験地の概要説明に続いて、意見交換しました。



天然林施業指標林にて



野生生物管理の説明

同林班内で場所を移動し、当所森林生物研究グループから、「森林内における野生生物管理」について、野生動物の管理、シカ問題等の説明があり、同箇所で行っている自動撮影装置による野生生物の観測について紹介し、意見交換しました。

昼食を挟み、簾舞地区の1128林班・空沼天然林施業実験林にて、当所森林生物研究グループから「天然林択伐と昆虫の多様性」について、択伐によるカミキリムシの生息数の変化を調べた調査結果を紹介し、意見交換しました。



空沼天然林施業実験林にて

全体を通して、天然林の択伐の今後のあり方について、活発に意見交換がなされました。最後に、今後も森林・林業の振興のため、綿密な連携を図っていくことを確認し、終了しました。